



あきつ



第29号
令和8年2月16日
校長 田上 明男

いのちのバトンをつなぐ ～5・6年生「いのちの授業」～

去る12日(木)、助産師の林田幸佳さんをお迎えし、「いのちの大切さを考える講演会」を実施しました。林田さんは、生命のはじまりから成長の過程を、身近なものに例えながら優しい言葉で語りかけてくださいました。

赤ちゃんが狭い骨盤を自ら回転しながら通り抜けてくる様子を模型で見せていただいた際、私は改めて生命の尊さと、産み育てる母親の偉大さに胸が熱くなりました。5・6年生にとっても、自分が今ここにいることは、先祖代々続く「いのちの繋がり」の結果であると再確認する貴重な時間となりました。

授業の最後、代表児童が述べた「僕はたくさんの人から大切にされてきたことが分かりました。だから、次は僕がみんなを大切にしたいです」という言葉は、優しさに満ちた、何よりの学びの証でした。



郷土の偉人に学ぶ

～横井小楠先生 墓前祭～

13日(金)、小楠公園にて「横井小楠先生 第157回墓前祭」が執り行われ、本校の6年生が参列しました。

顕彰会の光岡和隆会長のご挨拶に続き、子どもたちは最前列で「送別の語」を力強く唱和しました。大西一史市長(名誉会長)のお話にも、頷いたり、質問に答えたりと、真剣に耳を傾ける姿が印象的でした。

春を思わせる暖かな日差しの中、地域の誇りである先人に思いを馳せる、充実した時間となりました。



子どもたちの嬉しい姿・・・

先週、インフルエンザの流行により延期していた学校集会をオンラインで実施しました。その際、私は子どもたちに次のように話しました。「高学年の皆さんの、一人一人が人のために行動しようとする気持ちや『前向きにやってみよう』という姿勢、そしてその気持ちだけでなく実際の行動が少しずつ積み重なり、やがて他の学年へも広がって、優しい秋津小学校ができあがってきていると感じます。これからも、そんなポジティブな気持ちや行動で、秋津小学校をさらにより良い学校にしていきたいましよう。」

日々の学校生活や朝の正門の様子を見ていると、子どもたちの主体的な行動が至るところに見られます。上級生の姿が下級生に良い影響を与え、その広がりが相乗効果となって、秋津小学校がより良い、より優しい学校へと成長していることを実感しています。

子どもたち一人一人が、さまざまな場面で輝いている姿——その姿にふれるたび、私は嬉しさを感じ、心が温かくなります。

来年度への準備 ～新入生保護者会～

2月6日、来年度入学予定の保護者の皆様をお迎えし、説明会を実施しました。まだまだ寒い中でしたが、多くの保護者の皆様に出席いただきました。誠にありがとうございました。

職員・在校生一同、新しい秋津っ子の入学を心よりお待ちしております。

※転居等で入学に変更が生じる場合は、速やかに学校(367-4868)までご連絡ください。

